

かがわ健康ポイント事業「マイチャレかがわ！」

1 事業背景

平成 28 年県民健康・栄養調査では、前回の平成 23 年の調査に比べ、若い世代の朝食欠食率、女性の 1 日の歩数、男性の肥満の割合などが悪化しており、健康づくりの取組みが県民一人ひとりに浸透していないことが伺えた。なお、令和 4 年県民健康・栄養調査の結果においても、若い世代の朝食を毎日食べている者の割合や男性の肥満の割合などが悪化傾向にあり、健康づくりの取組みが引き続き必要であるといえる。

また、小児生活習慣病予防健診においても、平成 24 年度以降、近年では血液検査結果や生活習慣が悪化傾向にあり、家族・地域ぐるみの取組みが、一層必要な状況といえる。

2 目的

県民が行う日々の健康づくりや健康診断の受診や社会参加などに対し、インセンティブ策を設けることにより、特に若い世代や健康無関心層が楽しみながら継続的に健康づくりを実践するしくみを官民協働で構築し、県民運動を展開することにより、県民一人ひとりの健康づくり意識の醸成と主体的な健康行動の定着化を図る。また、市町等保険者とも協働で実施し、県全体で健康づくりを後押しする環境づくりを推進するものである。

3 実施期間

平成 30 年 12 月～

4 対象者

小学生以上の香川県民の方

5 内容

アプリ版と記録シート版によりウォーキングや朝ごはんを食べるなどの目標(マイチャレ)達成、健康診断の受診や社会参加などに健康ポイントを付与。一定の健康ポイント数を獲得した方が「マイチャレカード」を受け取り、これを提示するとサービス協力店で特典を受けられたり、賞品抽選に参加できる。

6 実施結果

- ・小学生以上の県民各自が、日々の運動や食事などの目標設定し達成できた場合や、健康診断の受診、ボランティアなどの社会参加を行った場合にポイントを付与し、一定のポイント数を達成した人が特典カードを受け取り、協力店でサービスを受けられるシステムを構築した。
- ・県内 17 市町が事業を協働で実施
- ・市町国保の保険者努力支援制度^{*})の共通指標達成の要件である「個人へのインセン

タイプの提供の実施」を達成することとなり、市町及び県に対して交付金が交付された。

- ・家族や友人とチームを作り競い合うチーム対抗戦を実施するとともに、企業ごとに登録を行い、歩数を競い合うことができるようにし、企業対抗戦を実施した。
- ・サービス協力店 358 店舗
- ・アプリのダウンロード数：33,300 人
- ・記録シートでの参加者（マイチャレカード発行受付人数）：246 人

（令和6年12月末現在）

7 今後の課題

より多くの県民に参加してもらえるよう、市町や関係機関等と連携して、効果的な広報・周知を行うとともに、協賛企業・団体の募集を図るなど官民共同で健康づくりを推進することが必要である。

また、市町国保の保険者努力支援制度の評価指標の変更に対応した、事業運営を実施していくことが必要である。

保険者努力支援制度^{*} 保険者（市町村、都道府県）における医療費適正化や保健事業等に対する取組を評価し、基準を達成した保険者に対して国が交付金を交付する制度